

「第三次大分県特別支援教育推進計画」平成30年度スタート！ ～特別支援教育の充実に向けて～

障がいのある子どもの自立や社会参加に向けて、一人一人の障がいの状態に応じた適切でより質の高い教育が求められています。

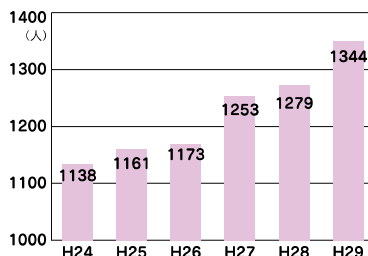
大分県では、特別支援学校で学ぶ子どもの増加に伴う教育環境の整備や進路実現、通常の学級に在籍する発達障がいのある子どもへの対応などの課題に対応するため、「第三次大分県特別支援教育推進計画」を策定しました。

基本方針

障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応える物的・質的環境を整え、インクルーシブ教育システムの構築をめざします。

【期間】平成30～34年度の5年間

県立特別支援学校在籍者数の推移



幼稚園でも
小・中学校等でも
高等学校でも
特別支援学校でも
特別支援教育の
充実を!!



柱

1 障がいのある子どもの学ぶ権利を保障する教育環境の整備

幼稚園
小・中学校等
高等学校

- ▶地域のニーズに応じた特別支援学級、通級による指導の教室の設置
- ▶公立高等学校における合理的配慮提供の徹底や特別支援教育支援員配置の促進等

特別
支援学校

- ▶盲学校・聾学校・別府支援学校本校・鶴見校・石垣原校における障がい種ごとの教育の充実のための適切な再編整備
- ▶特別な支援を必要とする人たちのため大分市内に知的障がい特別支援学校を新設
- ▶一般就労をめざす生徒の職業教育の充実のため、高等特別支援学校を新設等

柱

2 特別支援教育の充実に向けた教職員の専門性の向上

多様な
障がいへの
対応

- ▶特別支援学校教諭免許状保有率の向上
- ▶特別支援学校における「個別の指導計画」の充実と活用のさらなる推進
- ▶摂食指導等の専門家による授業参観や授業改善への支援等

☎ 特別支援教育課 TEL:097-506-5545

特別支援教育推進計画

検索

本は新しい世界への扉～新学期、読書を楽しもう!

春は、新生活に向けてチャレンジするびったりな季節です。たくさん時間がないと読書はできないと思いがちですが、5分あれば読書はできます。「1日10分以上」を目標に、春から読書にチャレンジしてみませんか。

●学校の授業時間以外に読書をする時間(平日1日あたり)(教科書・漫画・雑誌は除く)

平日の読書時間	2時間以上	1～2時間	30～59分	10～29分	10分以内	全くしない
小6(大分県)	6.2%	9.7%	19.0%	26.7%	17.6%	20.6%
小6(全国)	6.9%	9.9%	19.7%	26.8%	16.1%	20.5%
中3(大分県)	5.5%	8.3%	13.6%	17.6%	12.2%	42.7%
中3(全国)	5.7%	8.3%	15.2%	22.2%	12.8%	35.6%

【出典】平成29年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

1日にどれくらい読書をしていますか。大分県の小学生の読書時間は「10～29分」が最多ですが、中学生になると「全くしない」が4割以上となります。短い時間でも、少しずつ読書習慣をつけていくことが大切です。

読書って大切ななの?

①読書は豊かな心と生きる力を育てる

読書によって、いろいろな生き方や考え方、世界の多様さを知ることが、子どもの成長に大きな力を与えます。本から学校以外の世界を知ることが、自分の世界を広げ、生きる力をはくむことにつながります。

②読む力は学力の底力

読書は、子どもの語彙や表現力を豊かにし、学力の基本である読む力や表現力・思考力を育てます。学力テストの結果と読書量の関連を調べた調査でも、読書をする子どもは、国語以外でも学力が高い傾向にあります。

親子で読書を楽しもう!

小学生用「読書日記」配布中

推薦図書100冊を掲載した『読書日記』(小学校低学年・中学年用)を県立図書館で配布しています。親子でいっしょに読書を楽しみ、本の感想を語りあってみませんか。

データ版をホームページからダウンロードできます



●高学年用は平成30年度発行予定です

「大分県子ども司書」2期生83名誕生! 県内各地で読書の楽しさ伝えます!

今年も読書が大好きな子どもたちが、
県内10市町村から集まりました!



1年間、図書館の仕事や本の紹介のしかたを学んだ「子ども司書」1期生・2期生(計171名)が、県内各地で活躍しています!



乳児と絵本でブックスタート



青少年の家でブックルームを作成



保育園や図書館で読み聞かせ

☎ 社会教育課 TEL:097-506-5526

チャレンジ読書日記

検索